

徳島大学へようこそ

新入生の諸君、入学おめでとうございます。晴れて徳島大学生となり、新しい学生生活への期待も大きく膨らんでいることでしょう。御家族の皆様にもお子様の巣立ちに心からお慶びを申し上げます。私達教職員一同揃って皆様方を歓迎致します。さて、諸君が後になって人生を振り返った時、今日という日は必ずや未来への希望に満ちた人生の春であったことを思い起こされることと思います。これからの4年間ないし6年間の徳島大学での学生生活において、一般教養を学び、人間性を高め、真の友人を作り、青春を謳歌し、将来の職業の基礎となる知識を修得して頂きたいと願っています。

徳島大学は昭和24年に設立された国立大学ですが、今や世界のトップレベルの大学としての評価を受け、さらにそのレベルを向上させつつあります。たとえば、平成15年には文部科学省の「21世紀COE(Center of Excellence:卓越した研究教育拠点プログラム)」2つの拠点が選ばれ、「特色ある教育支援プログラム」にも国立大学24校の1つとして採択されました。また平成16年には「現代的教育―IT取組支援プログラム」にも採択されるなど、研究面、教育面ともに我が国ではモデル大学としての地歩を固めています。

法人化と徳島大学

平成16年4月に徳島大学は法人化されました。法人化によって変わった点としては、

- 1 文部科学省から運営費交付金として渡り切り予算を受け、役員会や教育研究評議会、経営協議会を中心とした自主的な運営が可能になったこと。
- 2 6年間にわたる中期目標・中期計画を立て、年度毎に業務実績について評価を受ける形で社会に開かれた大学となること。
- 3 教職員は非公務員であり、業績評価により人材の配置や給与の裁量などが可能になったことなどが挙げられます。

しかしながら運営費交付金としての予算は、平成17年度から毎年1%の効率化係数による削減が決まっております。配分される枠内で運営を行う必要が出てきます。従って予算の執行に際して、大胆な工夫を行いなおかつ中期目標・中期計画を達成することが要求されます。いずれにしても学生教育には最大限の配慮を行い、これまでの体制を守り、より発展させるよう努めます。



徳島大学長
青野 敏博
あおの としひろ

人生で最も輝ける時代を送ろう

徳島大学の目指すもの

徳島大学は中期目標・中期計画を実行中の6年間に行うべき3本の柱を立てました。それは、1 特色ある教育、2 独創的な研究および、3 密接な産学官の連携です。

- 1 特色ある教育システムの構築
まず、進取の気風、人間性そして専門能力を養う教育プログラムの策定です。学生の個性に合わせた能力開発の視点に立ち、進学と就職を考慮した専門基礎教育の充実を図ります。また高度専門職の養成と研究者の輩出を目指して大学院教育の改革を促します。そのためには不断のファカルティ・ディベロップメントを推進し、学生とともに教育の改革を目指します。
- 2 独創的で世界トップレベルの研究拠点の構築
蔵本地区では医学、歯学、薬学および栄養学の大学院が統合大学院「ヘルスバイオサイエンス研究部」を平成16年4月に設置し、組織横断的に研究や教育を行うことが可能になりました。分子酵素学研究センターやゲノム機能研究センターとも共同して独創的な研究が展開されることを期待されます。平成15年7月には21世紀COEプログラムが2拠点採択されており、本学は世界のトップレベルの研究拠点であることが実証されています。

一方、常三島地区でも総合科学部の自然システム学科と工学部が統合大学院「ソシオテクノサイエンス研究部」の設置を計画しており、その実現が期待されています。

- 3 密接な産学官の連携と幅広い地域貢献
本学では産学官の連携に取り組むため「研究連携推進機構」を立ち上げ、また幅広い地域貢献に資するために「社会連携推進機構」を設置し、活動を行っています。前者は知的財産の保護と産業界への技術移転を推進し、後者は地域社会への総合支援を行っています。このように社会貢献の面で、徳島大学は開かれた大学として地域とともに歩んでいます。

諸君はこのような大学で学ぶことを誇りに思い、健康に留意し、有意義な学生生活を送られると共に人生で最も輝ける時代とされることを心から願っています。



豊かな人間性を身に付けるためのアドバイスとメッセージ 学生生活は最初の出発点が大切

教育担当副学長
川上 博
かわかみ ひろし



大学が法人化され、各大学には特徴ある教育が求められています。まずは、徳島大学でどのような人材の育成に努力されているのかお聞かせください。

1 学生の多様な個性を尊重し、人間性に富む人格の形成を促す教育を行い、優れた専門能力を身につけ、進取の気風に富む人材の育成を目指す。

2 知の継承と創造に挑み、独創的で実り多い研究を推進し、豊かで健全な未来社会の創成に貢献する。

3 国際化と地域重視の時代に向けて、地域社会と世界を結ぶ知的ネットワークの拠点として、平和で文化的な国際社会の構築と地域社会の活力ある発展に寄与する。

この教育理念の中に「進取の気風」という言葉があります。自ら進んで

ことをなすという意味だと思えますが、高校生生活から大学生活への

4年間の学生生活を始めるにあたって、どのような能力を身に付けられるのでしょうか。

学ぶことには、①知識を身

に付けること、②考える方法を身に付けること、③2つの側面があると言われております。前者については、小学校以来の学習で鍛えられてきた能力だと思えますが、後者についてはこれまでそれほど意識してトレーニングはされていなかったのではないのでしょうか。

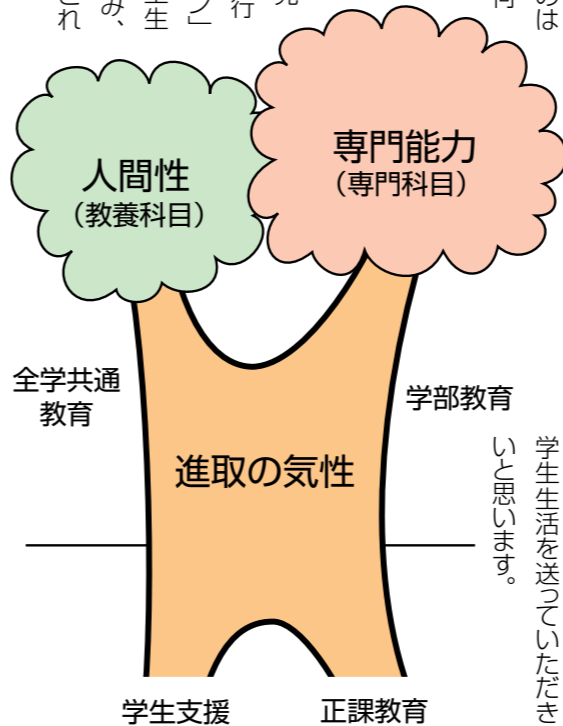
ご指摘の「進取の気風」が理念に盛り込まれているのは、本学の特徴のひとつで、何事にも前向きで積極的に取り組んでいく気魄を身に付けてほしいと言っています。

学生生活は最初の出発点が大切です。各学科で行われる「オリエンテーション」や「大学入門講座」で学生生活の全体像の概要をつかみ、おおまかな勉学の設計とこれ

からの目標をたて、それから具体的な実行に移ると良いですよ。

今日の社会では、学力のみならず人間力が重要視されています。この点に関して、学生生活を送る上でアドバイスを

お願いします。



感性豊かなみなさんは、始まったばかりの新しい環境の中で、将来への期待と不安で、今は少し疲れ気味かも知れませんが、でも人生は長いのです。問題意識を高く持って、解決には焦らずに時間をかけて取り組み、納得のいく実り多い学生生活を送っていただきたいと思います。

最後に、新入生へのメッセージをお願いします。

大学での学び

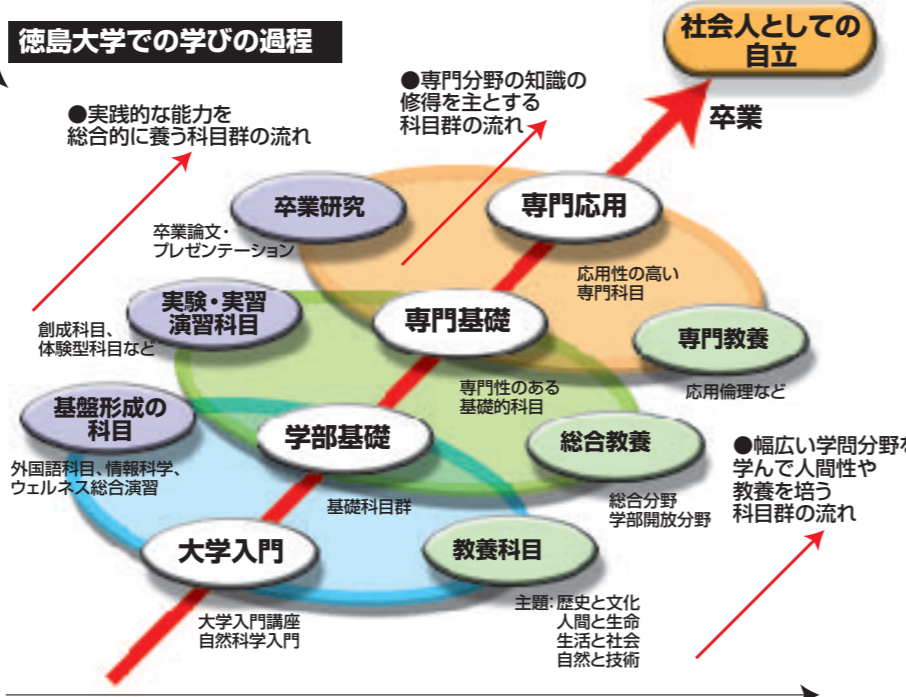
全学共通教育センター
桑折 範彦
こおり のりひこ



大学で学ぶとは

大学で学ぶとは、どういったことでしょうか。その意味、意義は何でしょうか。「一つは、あるまとまりのある知識を獲得すること、もう一つは、何かを為す能力を獲得すること」。これはシカゴ大学での初年次生へのテキスト「How to study」に書かれていることです。知識と能力を共にバランス良く身に付けることが大切だということです。同時に、これらを統合して実現するための態度、生き方を培うことも大切なことです。そして、これらのことによって皆さんが将来の職業など進路の可能性を広げることができ、また21世紀の社会に貢献できるようにになると期待しています。

徳島大学では1~2年次には主に共通教育の場で学び、次第に専門分野の学習に進みます。学部・学科を目指して入学したのに、専門分野の授業が少なく共通教育の科目を学ばなければならないのは何故かと思う人も居ると思います。それは、社会に貢献できる専門的知識や能力は、



学びのプロセス

図に入学から始まって卒業までの「徳島大学での学びの過程」を示してみました。中心の太い線は専門分野の知識を修得していく流れを、左側には実践的な能力を総合的に養う流れを、また右側には幅広い学問分野を学び人間性や教養を培う流れを

共通教育では

今年度カリキュラムを改訂しました。共通教育の授業を大きく分けると

- (1) 大学での学修に適應するための「大学入門科目群」
- (2) 幅広く様々な学問分野にわたって学ぶ「教養科目群」
- (3) 大学での学修の基盤形成をするための外国語、情報科学、ウェルネス総合演習を含む「基盤形成科目群」
- (4) 専門分野を学ぶ準備としての「基礎科目群」

の4区分になり、それぞれは、図で示した「学びの過程」に対応しています。「大学入門科目群」の「大学入門講座」では、大学での学び方、レポートの書き方、心と体の健康の保ち方などを学び、早く大学での学修に適應できるようにしました。

共通教育の中で重要な科目群である教養科目群については、「歴史と文化」、「人間と生命」、「生活と社会」、「自然と技術」の4つの主題を授業科目として設定して、現代における様々な課題を幅広くまたバランス良く学ぶことができるように、多くの授業科目が提供されています。

何を学び、何を問題として、何を求め、といった中身を自ら充実、蓄積することを行いながら、同時に学びの「ハウツー」も自主的に身に付けることが、これからの大学での学びで大切です。始めに示したように、知識と能力を共にバランス良く身に付けるように期待しています。その始まりが「共通教育」にあります。新入生の皆さん、自ら積極的に教員や友人に働きかけると、すばらしい応答があると思います。大学での学びをエンジョイしてください。教員の方々は皆さんのアフローチを待っています。徳島大学で意義ある学生生活を送りましょう。

歓迎します

新入生の皆さん、入学おめでとう。これからの新しい大学生活に期待しつつ、心を引き締めていることを思います。徳島大学は学が君たちをエンカレッジし、共にエンジョイしたいと思えます。

学ぶことを大いに楽しもう

総合科学部教授
石川 栄作
いしかわ えいさく



新入生の皆さん、入学おめでとうでございます。受験勉強から解放されて、今皆さんは希望と喜びに満ちあふれていることでしょう。しかし、真の意味での「学び」はこれからです。大学では積極的な「学び」の姿勢が大切です。与えられた課題を勉強するのではなく、自らが課題を見つけて、自主的に学んでいくところが大学です。

1 読書を楽しむ
そのためにもまずは読書の習慣を身につけましょう。読

書は堅苦しいものだと思うのではなく、知的冒険だと考えて、遊び心で大いに楽しむことです。読書に限らず、音楽、映画、演劇、絵画などのさまざまな芸術作品に触れて、大いに感動し、知性と感性を磨くことも大切です。そのような芸術作品を楽しむ「心のゆとり」「こそ、創造の源です。

2 友人や教員と大いに語る
読書をしたり芸術作品に触れて感動することと同時に、大学生活でさらに大きなこと

は、積極的に他人と接することです。友人と大いに語り合い、学生生活をエンジョイしてください。ときには教員の研究室を訪ねて、勉強のことだけでなく、いろいろな対話を楽しんでください。真の喜びは一人部屋に閉じこもった生活の中からではなく、他人と積極的に接するところから生まれてきます。

3 一歩ずつ目標
そのような積極的な行動を通してはじめて自らのめざす道も開けてくることのでき

う。しかし、ドイツの文豪ゲーテの言葉にもあるとおり、「いつかは目標に行きつけない」といっただ歩き方では不十分です。一歩一歩が目標であり、この一歩も一歩としての値打ちがなければなりません。「このゲーテの精神で、一日一日を大切に生きて、有意義な大学四年間を過ごしてください。」進まされれば「退く」です。皆さんのご健闘を期待しています。

バランスの取れた共通教育を

医学部教授
佐野 壽昭
さの としあき



今年度から全学共通教育が大幅に改訂されました。専門科目の理解を深め、医療人としての教養の修得に役立つバランスの取れた共通教育を期待しています。また、相互の連結を円滑にするために医学部として積極的に全学共通教育に関与していくべきと考えています。医学科のチートリアル、クリニカル・クラクシップを含む新カリキュラムは導入後5年目を迎えています。必要な部分も出てきています。担当部会で十分議論し、適切な対応を図ってい

くことが迫られています。また、卒業後臨床研修必修化2年目となる今年、本学附属病院での研修希望者が本学卒業生の1割にも満たないという厳しい現状に直面しています。卒前教育の実習、研修プログラムの見直しと充実が求められています。

一方、Tを活用する。e-learningの推進事業の一環としてパソコンを利用する医学英語のプログラムが開始されました。栄養学科では、プレハブ校舎での授業を強いられています。教員養成課程が

導入されたことからカリキュラムが改訂され、蔵本キャンパス全体における医療教育の統合という観点もあり、保健学科との合同授業が今年度から開始されることになっていきます。保健学科は、医療短大からの移行後、平成14年に新入生を迎え、今年度最初の4年制の卒業生を送り出します。法人化後、非常勤講師経費や実習経費の削減が次第に強まり、教育現場へのしわ寄せが顕在化する一方、教員の主な関心は研究成果の積み上げや自己資金の獲得

などへ向けられがちです。しかし、大学の原点は学生の教育です。教育活動には教員相互の対外協力あるいはボランティア活動的な要素が大いにあります。中長期的視野に立つて、地道に活動することがリーダーと教員個々に求められています。一層のご協力をお願いいたします。

自ら学び、自ら判断する目を大いに楽しもう

歯学部教授
中條 信義
なかじょう のぶよし



歯学部へのご入学おめでとうございます。新一年生のクラス担任としてお祝いの言葉を述べさせていただきます。皆さんは受験勉強まっしぐらで、ここまでがんばってこられて合格されました。そして、合格の喜びを深く噛みしめ、大学生活をどのように送ろうか、将来はどんな歯科医師になろうかなどと夢が膨らんでいることでしょう。

一方、昨年の国立大学から独立行政法人化大学への移行、歯科医師過剰問題など大衆、社会の激動期にあつて、不安

も大きいものと想像します。これらの問題については情報があふれていますし、簡単に情報が手に入る時代です。しかし、これらの情報がいつも正しく、真実なものばかりとは限りません。だからこそ、大学では知識や情報だけを獲得するだけでなく、人類的知的遺産を吸収だけでもなく(これらは必要最小限獲得すべきものではあるが)、自分の目で

真実を確かめる方法、真実を見極める判断基準、基本的な学び姿勢、学び方、未知への挑戦の仕方、未知のものへの正

しい探索方法等など、今までの学校生活では学ぶことができなかったことをしっかりと身につけることが必要だと思います。それには謙虚な学び姿勢が必要ですし、しっかりと教授内容と訓練が必要です。まさにこれらに因應するのが大学教育の二つの使命でもあります。

また昨今、若者は「ミニニケーション」をとるのが下手で、自分の感情表現も苦手、人づきあいも苦手な人が増えているとも言われます。これは歯科

医師が人を相手にする仕事であることを考えると大きな問題といわざるを得ません。そこで臨床教育も変えざるを得ない時代で、患者さんからの情報収集を「問診」と呼んでいた時代から、「医療面接」という言葉に変え、単なる医療情報を得るだけでなく「ミニニケーション」を視野にいれた技法の訓練へと教育も変わってきています。

いすれにしろ、皆さんがこれから送られる大学生活の在り方次第で、人生が大きく変わることを思います。有意義

な大学生活を送られることを祈念しますし、我々教員はそれを支えるべく最大限の努力をいたします。ほんとうにおめでとうございました。

自分の能力を信じ、大きな夢と高い意識を

薬学部教授
宍戸 宏造
ししど こうぞう



新入生の皆さん、入学おめでとうでございます。諸君は今、これまでの受験勉強一辺倒の生活からの開放感と、これからの大学生活への期待で一杯かと思えます。大学生活のスタートにあたり、これからの大学における学び方、過ごし方について私なりの考えとアドバイスを述べ、諸君への饒にしたいと思えます。

徳島大学薬学部は、創薬科学分野と生命科学・医療薬学分野とを明確に区分した2学科制を採用し、それぞれの分野が独自性を発揮した教育を行うことをめざしています。いず

れも創薬研究者、環境・衛生に関する研究者と研究マインドを持つ薬剤師を育成し、創薬・生命科学、環境・衛生及び高度な医療薬学の発展に貢献できる人材を世に送り出したいと考えています。大学の学部における教育は、一般教養教育と専門教育に2分されますが、それらは密接に関連しています。語学を含む一般的な知的能力を開発することを目的とした教養教育では、個人を全体的に開発し、物事の本質を理解し批判的に考える力を養うことを目的と

とが見つかることがあります。日本の大学をのんきな学生生活を楽しむための施設と心得ている学生が多くなっているように見受けられることがあり残念に思います。大学は基本的に勉強をすることを目的です。高等学校までとは異なり、答えの無いことが多い問題を解決する能力を開発し磨くところです。大学4年間は、専門分野にとどまらず、いろいろな学問分野に広く目を向け、柔軟な思考と幅広い知識の修得に意を注いで下さい。最後に私からお勧めを二つ、テレビを30分止めて、本を読むこと

を実行してみてください。ジャンルを問わず乱読でいい、どんな読む、つまらないと思つたら途中でやめる、これが続けるコツです。読書の意味、意義については敢えて書きませんが、一言えることは「語学の基本は日本語である」ということです。活字に親しみましょう。徳島大学薬学部は、ハード、ソフト両面で勉学に励む環境に恵まれています。自分の能力を信じ、大きな夢と高い意識をもって大学生生活を送ってください。ご健闘を祈ります。

学ぶ力をつけよう



工学部教授
英 崇夫
はなぶさ たかお

新しいキャンパスに足を踏み入れたいま、みなさんはすでに4年間のロードマップを描いているでしょうか。それとも真っ白いキャンパスに将来の地図を描こうとしているのでしょうか。

大きな夢を持つ
いまは君の手の届かないような夢でも、それは情熱と努力でできつかなえられます。青春は夢の大きき夢の広がり

考えを、借り物でない自分自身の考えを作りあげましょう。
生涯の友を見つけよう
楽しいこと嬉しいこと、また、悲しいことつらいことを共に分かち合える友を見つけることが大切です。

じりの知識はすぐ消え失せてしまいます。何度も反復し、その知識の原点や由来を覚えまとめることで知識は確かなものに成長します。また、それを他人に話し説明することで活きた知識になります。

力が学力であると言えます。自分の意志でいろいろなことを体験し、そこから問題点を見つけて解決する力を是非とも育てたいものです。生涯にわたって自らを育てていく技を大学時代に身につけましょう。

センターから

保健管理センター

センター長
大森 哲郎
おおくま てつろう

入学おめでとう。
保健管理センターは、徳島大学を舞台に青春を過ごす新入生の皆さんを健康面から支えます。検診や内科診療、健康相談、婦人科相談、メンタルヘルス相談などを行っています。気軽にご利用ください。

大学開放実践センター

センター長
廣渡 修一
ひろわた しゅういち

徳島大学に入学してくれて有難う。
君たちの将来は自分の力で切り開いてください。私たちはそのお手伝いができることを誇りに思います。センターは生涯学習の場です。一度足を運んでみてください。必ず発見があります。

附属図書館

館長
細井 和雄
ほそい かずお

御入学を心よりお慶び申し上げます。
大学では、先生から教わるという受け身の学習から、自分で積極的に勉強し、疑問点を自ら解決するという学習態度に変わらなければなりません。図書館はそのような皆さんを支える重要な施設です。よく活用し、自分の勉強に役立ててください。

高度情報化基盤センター

センター長
大恵 俊一郎
おおい しゅんいちろう

入学おめでとうでございます。
高度情報化基盤センターは、情報リテラシー教育や語学教育で使用する計算機システムを提供しております。これらを活用して、これからの若者に不可欠な情報技術と語学力を十分に習得するとともに課外活動を含め充実した学生生活を送ってください。

学生相談室

相談室長
北村 清一郎
きたむらせいいちろう

「おつ・ルーム」学生相談室は何でも相談室です。勉強のこと、勉強以外のこと、困ったことや悩みごとがあれば、気軽に相談してください。楽しい学生生活がおくれるよう、問題の解決に協力します。

創成学習開発センター

センタースタッフ
中島 やよい
なかじま

ここは、創成学習の実践の場として設置された、学生の皆さんが自由に活動交流できる「フレキシオンラザ」です。学部・学科の枠を超えて、ものづくりを体験したりグループで議論したり、みんないきいきと楽しんでいきます。
新入生の皆さんも、授業では得られないことや興味のあることをここで実現してみませんか？ 主役は皆さんです。主体的に行動すれば、実りあるキャンパスライフになることができます。スタッフ一同全力でサポートします。

前向きに何でもチャレンジ!

今日から始まるキャンパスライフ。希望と不安で胸一杯の皆さんに、先輩からメッセージ。
古松直さんはまだまだフレッシュな1年生(取材時点)ながら今年の常三島の大学祭実行委員長に。一方、昨年の蔵本の大学祭実行委員長をつとめた、荻野広和さんは大学生生活を極めた(?)4年生(同)の大先輩。それぞれの立場からアドバイスをいただきました。



荻野 広和 おぎの ひろかず
大学院医科学教育部1年 大阪府



古松 直 ふるまつ ただし
工学部機械工学科2年 兵庫県



入学前はどんな気持ちでしたか?

古松 実は浪人していたので、先に大学に行った友だちから「楽しい」って聞かされてはいましたが、実際はうまくやっていたいけるだろうか、勉強についていけないだろうかという不安がありました。

入学してみると?
古松 自炊などには今でも苦労しています(笑)。勉強は単位を取らなければなりませんから、自分から進んでやらないと遅れていきます。先生に何でも聞いたり、掲示板なども再々見ていると大切な情報を見落としてしましますね。

ですが、想像以上にみんな真剣で熱いのに驚きました。
新入生の皆さんにアドバイスが
ありましたら。
古松 まずオープンな気持ちでどんどん友だちをつくってほしいですね。生協前のテントの下にはよく人が集まるので友だちも見つけやすいかもしれません。先にも言いましたが、先生の所にどんどん足を運んで何でも聞くようにすれば勉強も進みます。とにかく何でも自分でやってみなければならぬのが大学です。

は生活のリズムをきちんとつくるのが大事ですね。朝ご飯はちゃんと食べた方がいいです。

荻野 時間を有効に使わないと、下宿などでだらだらしているところ、貴重な時間が過ぎていきます。自炊が苦手な人は、まわりに安くておいしい定食屋さんもたくさんあるので、栄養のバランスを考えて食事が片寄らないように気をつけてください。アルバイトをする人も多いと思いますが、時間の計画を立てないと、アルバイトに振り回されたり、勉強の時間がなくなったりして目的が逆になっちゃいます。

お二人とも大学祭の実行委員長というのですが。

古松 常三島は大学祭の実行委員会自体がサークルのような形になっています。「清流」というパンフレットを出しているんですが、これを見ておもしろそうだからやってみようと思って合宿に参加しました。高校の時にも文化祭で劇をやったりもしたので、いろいろとやりたいサークル

- ということ、お二人のアドバイスをまとめました。
- 何でも前向きに自主的に、積極的にやってみよう。
- 友だち、先輩を沢山見つける。先生とのつきあいを大切に。
- 生活のリズムをきちんとつくる。

下宿生活などへのアドバイスはありますか?!
古松 下宿で自炊している人

の参考にしてください。